

平成25年
6月定例会



津山市立
勝北風の子ども園



津山市立
成名幼稚園

やまの市議会だより

—あなたと市議会を結ぶ—

68号

平成25年8月10日発行

発行／津山市議会 津山市山北520 (TEL.32-2140) (FAX.32-2160) 編集／広報調査特別委員会

津山市議会ホームページ
津山市議会Eメール

<http://www.city.tsuyama.lg.jp/index.cfm/23,0,177,html>
gikai@city.tsuyama.okayama.jp

議会報告会を開催します

市議会議員が議会の報告を行い、市民の皆さまと意見交換をします。どなたでも、どちらの会場でも参加できますので、ぜひお気軽においでください。
と き： 平成25年9月28日(土) 午後2時～午後4時
ところ： 津山市加茂町公民館(加茂町塔中)・佐良山公民館(平福)・
勝北公民館(新野東)・イオンホール(河辺 イオンモール津山内)
定員なし(申し込み不要)

目次

- | | |
|-------|--------------------------------|
| 2面 | こんなことが決まりました |
| 3～8面 | こんな声をお届けしました |
| 9～10面 | 常任委員長報告 |
| 11面 | 委員長報告に対する質疑・討論 |
| 12面 | 委員長報告に対する討論、人事案件、表紙写真について、編集後記 |

6月定例会のPoint

6月定例会は、6月3日から25日までの23日間にわたって開催され、第1次補正予算(11億3千万円)、条例改正等議案5件、工事請負契約議案14件、最終日に人事案件2件の22件を可決しました。

一般質問、議案質疑では、24名の議員(正・副議長、監査委員を除く全員)が質問に立ち、農林業政策、工事請負契約締結、教育課題等について活発

な議論が展開されました。

5月の議会構成替えにより選出された新しい4つの常任委員会が6月17日、18日に開かれ、総務文教委員会では、談合疑惑について関係者より意見聴取が行われました。

平成25年3月定例会から各議員の議案に対する賛否の状況を公表しております。今号では2面に掲載しておりますのでご参照ください。

6月定例会では こんなことが決まりました

一般会計補正予算(第1次)などを可決

6月定例会は毎年、提案される議案の数が比較的少ない定例会です。

その中でこのたびは、一般会計補正予算(第1次)約11億3千万円が提案されました。この予算は今年3月に可決した補正予算、そして今年度の当初予算と一体のものとして編成されており、「地域の元氣臨時交付金」や「起業支援型地域雇用創造事業」など、国県の制度に基づくものを中心でした。

多数の「工事請負契約議案」を論議

今回の議会のもう一つの特徴は、学校現場の「耐震工事」や「ときわ園移転・新築工事」など16件の入札が行われ、その中で、議決が必要な14件が提案されたことです。工事予定価格が1億5千万円以上の工事請負契約をする場合には「議会の議決が必要」と条例で決められています。今回の契約議案の中の一部に、一般競争入札時に「談合があった」とか「入札の妨害をされた」との情報があったため、議会の中でも慎重に議論を行いました。賛否両論ありましたが全ての契約議案を可決しました。

詳しくは議員の質疑欄や「常任委員長報告・質疑討論」(9～12面)をご覧ください。

議案等への賛否状況一覧表

平成25年6月定例会

番号	議案名	議員名																									審議結果		
		秋久憲司	安東伸昭	岡田康弘	岡安謙典	小椋多	黒見節子	河本英敏	近藤吉一郎	末永弘之	田口慎一郎	竹内邦彦	竹内靖人	津本憲一	津本辰己	中島完一	西野修平	野村昌平	原行則	久永良一	村田隆男	森岡和雄	森西順次	山田誠	吉田耕造	賛成	反対	議決結果	
議案第8号	工事請負契約について （ときわ園新築建築工事）	○	×	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	×	×	○	○	○	×	○	×	○	×	○	15：10	原案可決	
議案第9号	工事請負契約について （ときわ園新築機械設備工事）	○	×	○	○	○	○	○	×	○	×	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	19：6	原案可決	
議案第10号	工事請負契約について （向陽小学校校舎耐震改修工事）	○	×	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	×	×	○	○	○	×	○	×	○	×	○	○	16：9	原案可決	
議案第11号	工事請負契約について （院庄小学校校舎耐震改修工事）	○	×	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	×	×	○	○	○	×	○	×	○	×	○	○	16：9	原案可決	
議案第12号	工事請負契約について （高野小学校校舎耐震改修工事）	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	22：3	原案可決	
議案第13号	工事請負契約について （津山東中学校校舎耐震改修建築工事）	○	×	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	×	×	○	○	○	×	○	×	○	×	○	○	16：9	原案可決	
議案第14号	工事請負契約について （北陵中学校校舎耐震改修建築工事）	○	×	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	×	×	○	○	○	×	○	×	○	×	○	○	16：9	原案可決	
議案第15号	工事請負契約について （鶴山中学校校舎耐震改修工事）	○	×	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	×	×	○	○	○	×	○	×	○	×	○	○	16：9	原案可決	
議案第16号	工事請負契約について （津山西中学校校舎耐震改修建築工事）	○	×	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	×	×	○	○	○	×	○	×	○	×	○	○	16：9	原案可決	
議案第20号	工事請負契約について （戸島学校食育センター改修工事）	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	24：1	原案可決	
議案第21号	工事請負契約について （東公民館新築建築工事）	○	×	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	×	×	○	○	○	×	○	×	○	×	○	○	16：9	原案可決	

※ ○：賛成 ×：反対 退：退場 除：除斥

※ 賛否状況は議員の申告等に基づいて作成しております。

※ 川端恵美子議員は議長のため、採決には加わりません。

※ 松本義隆議員は、採決当日欠席でした。

※ その他の議案等は全員一致で原案可決となりました。

6月定例会の日程

6月3日(月)

開会

議案一括上程

6月10日(月)～14日(金)

議案質疑、一般質問、委員会付託

6月17日(月)・18日(火)

各常任委員会

6月19日(水)

各特別委員会

6月25日(火)

常任委員会委員長報告・質疑・討論、採決

追加議案上程、採決

閉会

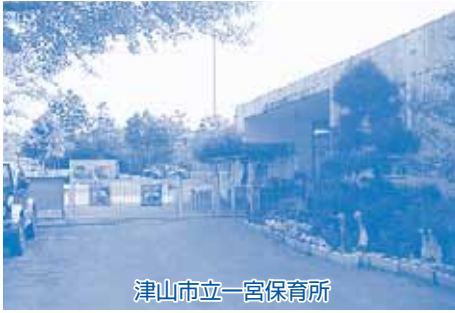
市政に対する 個人質問



こんな声をお届けしました

6月定例会では、10日(月)から14日(金)までの5日間にわたって、質問を行いました。次ページより紹介しますが、掲載の質疑は議員が作成し、議員の責任で掲載しています。写真については、質問にちなんだ写真やイラストを持ち寄りました。

議員名に★印がついている議員は一問一答方式を選択しました。



津山市立一宮保育所

グリーンヒルズ津山が最適地 一宮保育所の移転問題

津山誠心会議 中島 完一

質問 ↓ 具体的な移転場所、施設概要について3月定例会以降の進展状況は。地元（一宮地区）との調整をどのように進めていくのか。

答弁 ↓ 一宮保育所の施設整備については、第4次総合計画後期実施計画において、最重要課題のひとつと位置付け検討を進めてきた。候補地については、「グリーンヒルズ津山」の敷地内が最適地と考えている。早急に一宮保育所の関係者や地元の方々等にも加わっていただき、建設検討委員会を立ち上げ、ご意見をいただいて進めていく。施設は公設公営を考えており、さまざまな交流が図られ、一宮地区の皆様はもちろん、多くの市民の皆様が愛され、親しまれる交流プラザのような施設になるよう整備していきたい。

国の学力調査直前に市独自の模擬テスト、効果は

新風会 岡田 康弘



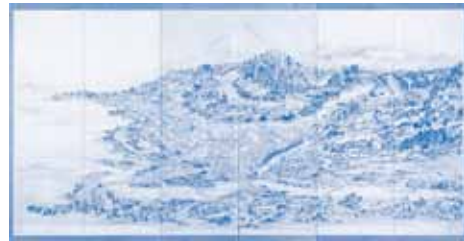
確認された。内容を十分確認し該当教職員に指導措置をし、各学校で防止に向けた校内研修を行っている。

質問 ↓ 国の学力状況調査の直前に市独自の模擬テストを実施すると聞くがどのような計画、効果を考えた施策か。

答弁 ↓ 市独自の学力調査は小学3年生と5年生全員が対象。5年生はすでに5月に実施し、3年生は3学期に計画している。より早い段階で子どもたちの学力の実態を把握し計画的、統計的に指導や学習改善につなげるのが狙い。義務教育9年間を見通した継続的な検証サイクルを確立させ、学力向上に取り組んでいきたい。

津山市に美術館を

新政クラブ 秋久憲司



江戸一目図屏風（えどひとめずびょうぶ）

質問 ↓ 東京スカイツリーに鉄形蕙斎の「江戸一目図屏風」のレプリカが展示されている。津山の「お宝」としてどう思うか。

答弁 ↓ 江戸時代を代表する都市景観図の傑作であり、津山市民の貴重な財産で日本が世界に誇る文化財である。

質問 ↓ 市では既存施設を活用して美術館を検討しているが、美術館の機能や役割を果たすことが難しく中途半端なことになりはしないか。この際、専門家や市内の有識者などと津山市の美術館はどうあるべきか構想委員会を立ち上げてはどうか。

答弁 ↓ 津山郷土博物館は展示スペースが少ない。津山文化センターは老朽化が進んでいるなど文化施設は多くの検討課題があり、美術館構想についても検討するため、仮称「津山市文化施設検討懇談会」を立ち上げたい。

全ての事業が「定住推進」につながる！

★市民と歩む会 黒見 節子

質問 ↓ 「子ども・子育て審議会」の経過再編計画はどうするのか。

答弁 ↓ 委員17人、2年間で子育て支援の推進方策を策定する。子育て施設の再編は策定後の課題と考える。

質問 ↓ 空き店舗対策事業の成果と課題はどうか。

答弁 ↓ 県の制度で13件開店し、3件が継続営業。その後、市の制度で17店舗開店し15店舗が営業している。フォロアップは空き店舗対策機構、まちづくりコーディネーターで支援したい。

質問 ↓ 定住推進基本方針の新規事業の取り組み状況はどうなっているか。

答弁 ↓ 農商工連携、青年新規就農者支援、事業者向けセミナーや就職説明会、地域の観光資源掘り起こし実践事業、定住相談ホットラインやホームページ等で情報発信に取り組む。

親子で学ぶ論語教室

答弁「親子で学ぶ論語教室」は、津山市家庭教育推進協議会に委託したつやまっ子家庭教育推進事業のひとつで、閑谷学校の國友道一所長を講師に迎えて開催している。平成23年度、24年度で計6回開催し、述べ362名の参加があった。この教室の特色は論語を子どもたちにもわかりやすく説明し、理解していただくことを目的に開催している。この講座を通して、保護者の皆さまにはより良い子育てのヒントとしていただくのはもちろんのこと、互いに学びあい互いに語りあうことによって、より親子の絆が深まるものと考えている。

質問 宮古島市との交流の歴史を踏まえ、て物産展を開いては。友好交流都市などと相互発展のための施策を進められないか。

答弁 11月に宮古島を訪問した際、宮古島市長から特産品であるマンゴーの販路拡大への協力要請があり、市内でのイベントなどの機会にPRしたい。津山の農産物を宮古島の物産展などでPRしてもらい一層両市の交流を図りたい。現在、国内外の9都市と縁組や提携をしており、今後のまちづくりに積極的に活かしたい。来年度は宮古島市と50周年、平成27年度は歴史友好都市の香川県土庄町と提携30周年、岐阜県可児市と20周年を迎え、その機会をとらえ物産展の開催をはじめ、人と物の交流を促し、相乗効果を生む事業を進めたい。

津山産業・流通センター

津山産業・流通センター

行則

質問→政権交代し、経済再生、東北復興の加速を最重要課題とし、デフレからの脱却のために金融緩和、財政出動し、円高の是正、株価上昇と景気の潮目が変わり、上昇期待の兆しが出始めている。津山の経済、雇用状況はどのようになっているか。

【答弁】日本経済は持ち直しの動きが続いているが、都市部と地方では温度差がある。津山地域ではステンレス。加工関連が好調。雇用情勢は4月の有効求人倍率が0・93倍と前年比0・2ポイント、求人数も5300人増加している。

質問↓企業誘致の現状と展望は？

答弁 十本年6月から市外からの企業誘致も目的に制度適用条件の緩和の引き下げ特例を創設した。22年度末から現在まで9社が決まり44社となった。

緑風会 西野修平

野修平

質問 十島根県浜田市の鶴田藩の飛び領地が久米の桑村地区にあった。幕末に鶴田藩が長州兵に攻め入られ、この地に逃げて来られた。その顕彰と供養が明治より現在まで浜田会として行われている。浜田の市当局、議会の代表も毎年来られ出席している。美作国建国1300年を契機に歴史友好都市縁組しては。

答弁→現在の交流がさらに深まり、より発展的な交流になることを期待する。

質問 ↓耕作放棄地を農地に戻し、農地の集積を図り、津山の農産物を外に売れる農業にすべきでは。

答弁→耕作放棄地再生利用緊急対策交付金制度で、農地の復旧をしている。外へ出荷するために、組織体制づくりを行っている。

津山市の農政、教育行政は

★津山新星会議 小 椋 多



質問→人・農地プランのその後は。

答弁→昨年12月に、農協の支店単位で市内全域を包括する8つのプランを作成して各種支援制度を受けられることとなった。広範なプランとなったことで、貸出希望農地の把握があまり出ていないが、今後は制度の周知を図っていきたい。また、農地基本台帳とのデータの共有を図り、各種支援策が確実に受けられるようにしていきたい。

質問→津山市の目指す教育とは。

答弁→本年3月に策定した「津山市学校力向上推進プラン」に基づき、このプランの目指す学校像「子どもたちが生き生き学び、楽しく遊び友達を作り、自分であることに誇りを持ち、夢と希望を育むことの出来る、分かる授業、楽しい学校」を実現していく。

農業、林業の振興策

★日本共産党津山市議員 久永良一



質問→森林・林業再生のカギは、地域材需要の大幅な拡大。あらゆる会合等に出向き、森林を守る意義と地域材使用促進をお願いする。県議会で県産材使

用を呼びかける決議を要請する。県産材を使用した住宅建築への補助を県と市あわせて100万円とする。森づくり新聞を市公報に定期的に入れる。

答弁→「木の国美作推進協議会」等を通じて、要望を行う。市の補助金は総合的に検討する。今年度は森林・林業の特集号にも取り組む。

質問→集落営農の担い手確保は定住にも結びつく重要課題。そばの生産・消費でまちおこしを提案する。

答弁→できる限り国の制度を活用できるように支援していきたい。そばの生産を振興していくことは望ましいと考える。

「健康つやま21」の取り組みは

公明党津山市議員 岡安謙典

質問→「健康つやま21」の総括と今後の取り組みは。

答弁→第1次の取り組みでは、目標である健康寿命の延伸について、平成19年度の中間評価値に比べ、男性は2・1歳、女性は1・0歳延伸し、生活習慣病など健康分野に設定した数値目標も6割改善された。一方、特定健診やがん検診率は伸び悩んでおり、今後の市民の健康づくりに向けた大きな課題がある。第2次では、「からだの健康づくり」として特定健診やがん検診の受診率向上に取り組む。具体的には、集



団検診をこれまでの5回から7回に、市内全域で10ヶ所を健診会場にして受診しやすい環境づくりに努める。また、今年度から「健康応援隊」「健康キャンペーン」に取り組む。

市長答弁では生の声が聞けない、談合情報はこれまでになく信びよう性がある

★山田 誠

質問→①TPP問題のうち、農業部門に絞って、市長の基本的な考え方は。②談合情報の提供者が現役の建設業者で市内組織の重要な役職にあること、また入札案件ごとに業者数がかく配分されていること、これは業者間の協議が整ったのか、談合というのか。

答弁→①TPP交渉では、農林水産分野の重要5品目等の聖域の確保を最優先し、それができないと判断した場合、脱退も辞さないとの決議がなされている。本市の製造業の中には輸出が拡大することにより受注が拡大し、好影響を受ける企業もある。交渉の行方と政府対応を注視してまいりたい。②今回は一般競争入札(電子入札)で行われ、入札への参加不参加は自由。業者は多くの課題をクリアして参加したものである。



道の駅「次米の里」

相変わらずの談合情報の処理

★市民と歩む会 河本英敏



1年間暮らすプレハブ校舎と自転車置き場

【質問】市は、談合情報を受け、対応マニュアルに従って、公正取引委員会、警察、岡山県に通報するとともに、関係業者の聞き取り調査を実施した結果、確証がないとして契約議案を議会に提案されているが、提案に当たって市民視線をどれ程に意識したか。

【答弁】市民の中には、色々な考えがあると思う。警察や公正取引委員会の調査結果が確定するまで事業を凍結出来ない事情もありご理解いただきたい。

【質問】旧市内、住宅と農耕地の混在地域で、基盤整備の進んでいない要因は何か。

【答弁】市内住宅混在地域では、農地整備を行うと転用の際に制限があり、未整備のまま残っているものと考えられる。

津山の将来像

★津山誠心会議 安東伸昭



【質問】TTP参加の有無を問わず、津山の今後の農林行政について。

【答弁】農業は基幹産業であり、将来にわたり持続可能な農業となるよう、守り育てていかなければならない。農地の集積を進め、経営の効率化、生産コストの低減を図り、企業として成り立たせ、そこに雇用の場を創造する。

【質問】美作国建国1300年事業を通じ次世代に何を継承・伝承するか。

【答弁】先人から引き継がれてきた美作地域内にある豊かな自然や数々の名所・旧跡、歴史や文化を「美作国」をキーワードに地域が連携していける組織体制の確立に努める。

【質問】江戸一目図屏風の認知度は。

【答弁】江戸一目図屏風で販売されている江戸一目図屏風関連商品の売上高(14年度実績)は、2,031万円。

政策立案と戦略的まちづくりの推進

緑風会 竹内靖人



農地・水・環境保全向上対策事業取組地域

【質問】TTPに参加をしなくても地域農業を守る事は難しい。逆手にとり戦う

農業、地域づくりに取り組む必要があるのでは。

【市長】農林業は市の基幹産業で多面的な機能も有している。将来にわたり持続可能な産業として何としても守り育てていかねばならない。様々な取り組みを有機的に結び付け戦略的な取り組みとする必要がある。

【質問】東京での「作州のつどい」への思いは。企業誘致などに結び付けられるか。

【市長】まちづくりの原動力と考える。本市に新しい動きが生まれ波及効果につながるものと期待している。【総合企画部長】「作州のつどい」は津山広域事務組合が主催し11月15日開催の予定で準備を進めている。

合併後の様々な弊害！ 各支所機能の充実は

★市民と歩む会 村田隆男



津山市久米支所

【質問】合併10年経過後の各支所の縮小や技師を本庁に移すことが市民目線か。

政府の「第30次地方制度調査会」は総合支所運営で地方交付税拡充を提言。住民サービスの維持が狙いだが当局の見解は。

【答弁】合併した区域は窓口機能、緊急対応機能、地域の振興を支援する機能を考えている。答申や国の動向も踏まえ、支所機能は検討したい。

【質問】在宅で家族主介護者にヘルパー代の支給をすること介護難民の解消、介護保険料の引き下げ等につながる。国・県に要望書の提出は。在宅介護を行う上で医療との連携は。

【答弁】介護保険制度の根幹に係るもの。調査研究し、国・県の動向も注視し必要があれば要望したい。県は「在宅医療連携拠点事業」等に取り組む。介護と医療の連携に一層の強化を図る。



「にらみあいの松」（院庄東公園）

「名古屋山三郎」を津山の観光振興に

津山新星会議 竹内邦彦

質問→津山のブランドとして、戦国時代の武將「名古屋山三郎」にスポットをあ

てて、観光客の誘致に努めてはどうか。

答弁→津山のオリジナリティを活かして、他都市との差別化を図るという意味では、「名古屋山三郎」という人物は津山市のイメージアップと情報発信を図る有効な素材であると考えます。しかし、名古屋山三郎については、市民に十分知られていないのではないかと思います。まずは地域内での知名度を上げることが必要と考えます。観光という立場では、地域の資源を掘り起こし、工夫と磨きを加えて観光素材として発信する「着地型観光」の取り組みの中で、何が有効なのか研究してみたい。



1998年オープン当時のガラスハウス館内

グラスハウス経営問題

新政クラブ 野村昌平

質問→県から譲渡を受け、グラスハウスの市単独運営が2年経過したが、利用者が予定をかなり下回り、連続赤字である。放置すべきではない。実態把握、認識と対応は。

答弁→前年度は利用者計画8万人、実績7万6千人、会員数は月平均323人、赤字は3,871万円。

市長→グラスハウスは市民の憩いと交流、健康づくりの目的で多くの市民に利用していただいているが、2年連続して赤字決算となり誠に遺憾である。指定期間満了以前の取り消しは利用者にも大きな影響を与えるので、経営の安定に向け、より一層の指導に努め、指定管理者においてもさらなる利用促進策を講じ、一層の経費削減など最大限の経営努力に期待する。

農業振興

津山誠心会議 田口慎一郎

質問→農産物直売所の整備は。

答弁→場所は、国道53号沿いの杉宮地区を予定。今年度に用地取得、測量、基本設計、実施設計を行い、来年度中に整備を完了する。これができるとう津山市では公設民営で3番目の施設となり、市内全域での地産地消の推進や6次産業化を図る体制整備ができあがる。

質問→国が、地方公務員の給与を7.8%削減することを求めているが、津山市の試算では本年度の交付税はどうなる見通しか。

答弁→国は、本年度の地方交付税総額か

津山駅周辺整備について

津山新星会議 近藤吉一郎

質問→津山駅周辺整備計画が策定されたが、周辺部の国道53号の歩道整備はど

うなるのか。にぎわいゾーンはどのような想定なのか。駅舎のバリアフリー対策はどのようなものになるのか。

答弁→駅と中心市街地を安全、快適に行き来できるように国道53号の600m区間の南北両側に幅員3.5mの歩道が整備される。仮称駅前観光センターを核としたにぎわいゾーンは、城下町の風情薫るデザインを採用。今回の周辺整備により移転となる既存商店街から優先的に出店希望を募る考えで詳細を検討したい。駅舎のバリアフリーについては、北口広場の整備を完了した後、引き続き二期工事として計画している南北自由通路の整備と併せて改修が図られるようJRと協議を行っている。



ら給与関係経費8千5百億円を削減。本市への影響は3億円の減額がある一方、新たに地域の元気づくり事業費約7千万円を設けており、差し引き約2億3千万円の減額になる見込みである。

領家地域の「保安林解除」ができないのだから「失格」ではないのか

★日本共産党津山市議団 末永弘之



新クリーンセンター建設の工事現場

【質問】領家に建設を決めるときに「保安林の解除が不可は落第」となっている

が、今、解除できないでトラブルも起こっている。保安林解除が出来ない領家は落選ではないのか。

【答弁】よりよい環境に配慮するために行った施設配置の見直しの中で、解除しなくて済むのであれば、保安林を保護するようにしたものごとご理解いただきたい。

【質問】保安林の解除ができないと言っていることを隠して、見直しをして解除をしなくてもよいようにしたのか。

【答弁】環境などに考慮したものである。

【質問】工事請負契約に当たって、談合情報が寄せられ、信ぴょう性も高いと思われるが、対応マニュアルの「見直し」などが必要ではないか。

【答弁】見直しなどを検討したい。

津山市議が廃棄物処理条例を破り罰金50万円を払った事実確認を

★緑風会 津本憲一

【質問】津山市廃棄物の処理及び清掃に関する条例を津山市議会議員が破り、略式裁判で罰金50万円を払った資料を檢察庁津山支部に請求しては。

【答弁】議員が刑事罰を受けたことを公表することは条例の権限外である。

【質問】田町町内会から旧田淵邸武家屋敷を保存の要望、並びに城西地区を重要伝統的建造物群保存地区指定に向けての市長の考えは。全てのだんじり15台を保管する展示館の整備を、徳守神社内にすることを提案する。

【答弁】田町町内会の意見は重く受け止め

ている。だんじりの展示は全体収蔵・展示・大規模観光拠点の方法もあるが、旧田淵邸の整備計画は城東地区とのバランスを考慮し8台を展示し、残りのだんじりは各町内での保管を考えている。城西地区の重伝建は今後現地調査を行っていく。



徳守神社

補助金、何を基準に削減しているのか

★新風会 松本義隆



【答弁】現在の財政事情を受けて一定の割合で予算配分を削減、各方面への影響を平準化している。観光イベントへの市の補助金は事業仕分けの判定結果も踏まえて全体経費の50%以内を原則としており、主催者の皆さんには自主財源の確保とコスト削減をお願いしている。

【質問】電算委託料をもう少し減らすことはできないか。

【質問】イベントなどの補助金が大幅に削減され、開催が危ぶまれるようなものがあると聞く。補助金は何を基準に削減しているのか。

【答弁】委託先相手方は基幹情報システムの多くを納入している業者など全部で17社。契約の内訳については毎年見直しを行い、削減できるものは削減している。

水力発電の適地では

新風会 森岡和雄



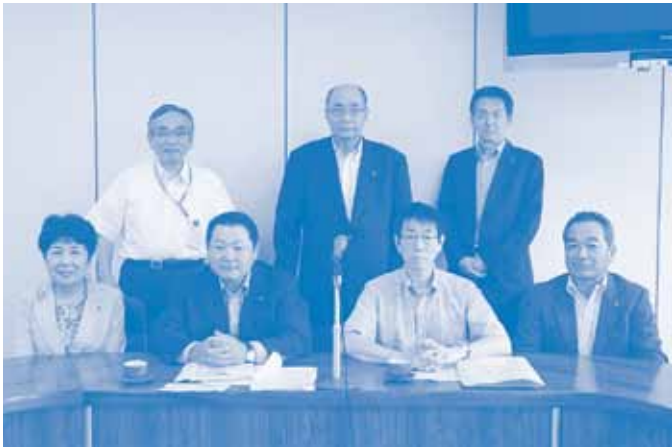
小田中浄水場に設置されている小水力発電設備

【質問】本市は水力発電の適地だと思うが、調査についての考えは。

【答弁】今議会で補正予算に計上している小水力発電事業のポテンシャル調査において、予算議決後に市内で事業実施が可能と思われる箇所をピックアップし、水量や発電電力量の見込みを洗い出す予定。

【質問】木質チップの活用方法は。

【答弁】昨年度から阿波地区で実施している地元住民が木材を搬出し木質チップを製造、あま温泉へ供給する「木の駅プロジェクト推進事業」に活用するよう本年度の秋に取り組みを予定している。来年度から木質チップの本格供給を計画。阿波地区だけでなく、加茂地区の協力も必要となるため今後関係町内と協議を進めていきたい。



総務文教委員会

市の総合企画部、総務部、財政部、地域振興部、出納室、教育委員会、選挙管理委員会、公平委員会及び監査委員の所管に属する事項等に対応する委員会です。

◎森岡和雄 ○近藤吉一郎
川端恵美子 末永弘之 田口慎一郎
竹内靖人 森西順次

（◎委員長 ○副委員長 以下同様）

総務文教委員会に付託された議案14件について慎重に審査をした。
議案第2号「平成25年度津山市一般会計補正予算（第1次）」及び、議案第7号「津山市過疎地域自立促進市町村計画の変更について」は、全員一致で原案のとおり可決とした。

議案第10号から議案第21号の「工事請負契約について」の計12議案の審査では、入札に関する談合情報が寄せられたため、関係者を招く等計3回の勉強会を開催し、慎重に審査をした。

種々質疑の結果、議案第12号、第17号、第18号、第19号、第20号の5議案は、全員一致で原案のとおり可決とし、談合情報等が寄せられた議案第10号、第11号、第13号、第14号、第15号、第16号と第21号の7議案は、採決の結果、可否同数となり、委員長裁決により否決とした。

委員会では今後、談合情報が寄せられることのない新しい入札制度を検討していくこととした。



厚生委員会

市の環境福祉部、こども保健部及びクリーンセンター建設事務所の所管に属する事項に対応する委員会です。

◎秋久憲司 ○原行則
安東伸昭 河本英敏 西野修平
松本義隆 吉田耕造

厚生委員会に付託された議案4件について慎重に審査をした。
議案第2号「平成25年度津山市一般会計補正予算（第1次）」の

うち、厚生委員会の所管に属する事項については、介護職人材育成事業委託料や保育士等処遇改善臨時特例事業について質疑応答があり、全員一致で原案のとおり可決とした。

議案第3号「津山市国民健康保険条例の一部を改正する条例」は、国保料負担軽減の時限的特例措置の期間延長等を行うもので、全員一致で原案のとおり可決とした。

議案第8号及び議案第9号「工事請負契約について」（ときわ園新築建築工事）は、入所定員や福祉避難所の機能について等の質疑応答があった。また、談合情報が寄せられた現時点では、適正な判断ができないとの反対意見があり、採決の結果、賛成多数で原案のとおり可決とした。

◎ 議員はお祭りへの寄付や差し入れも禁止されています。



産業委員会

市の産業経済部及び農業委員会の所管に属する事項に対応する委員会です。

◎中島完一 ○小椋 多
岡安謙典 木下健二 野村昌平
村田隆男 山田 誠

産業委員会に付託された議案3件について審査をした。

平成25年度一般会計補正予算(第1次)のうち産業委員会に係る項目の審査では、阿波地区で取り組まれている「木の駅プロジェクト推進事業」等で使用する木質チップの活用策について質疑があり、当局から、今後導入箇所の拡大に向けて、関係部署と検討したいとの答弁があった。また、嵯峨井堰地区計画の測量設計等委託料の質疑に関連して委員から、地域住民に対して事業内容の説明に努めるよう要望があり、(仮称)勝北マルシェの質疑に関連しては、事業の効果などを把握、反映した詳細計画とするよう意見を付した。審査の結果、その他の2議案「津山市執行機関の付属機関設置条例の一部を改正する条例」と、「津山圏域雇用労働センター条例の一部を改正する条例」とあわせて、いずれの議案も、全員一致で原案のとおり可決とした。



建設水道委員会

市の都市建設部及び水道局の所管に属する事項に対応する委員会です。

◎久永良一 ○黒見節子
岡田康弘 竹内邦彦
津本憲一 津本辰己

今期定例会において、建設水道委員会に付託された議案2件について慎重に審査をした。

議案第2号は、道路の維持管理及び改良工事、津山河岸緑地の照明工事、国道53号津山南道路関連の市道拡幅工事、鶴山球技場の撤去及び広場整備、鶴山公園三の丸の歩道整備、公園トイレの改修工事、八出市営住宅の解体などを行うための補正予算であり、全員一致で原案のとおり可決とした。

議案第6号は、津山駅北口広場整備事業の実施に伴う条例の失効期間を変更するための条例整備であり、全員一致で可決とした。

都市建設部から、津山駅周辺整備、城東地区の重要伝統的建造物群保存地区の選定、南部污水幹線建設工事についての報告があり、水道局から、第2次津山市水道局浄水場運転管理等業務委託・収納等業務委託、小田中浄水場更新工事の進捗状況についての報告があった。

委員長報告に対する質疑・討論

6月定例会では、耐震工事などの「公共事業をめぐる談合情報」が寄せられ、委員長報告に対する質疑は2人、討論は6人行いました。その概要をお知らせします。

工事期間中、子ども達への影響は**市民と歩む会 河本英敏**

質問↓①工事の期間中、子ども達への影響は。②

子ども達から長期間グラウンドを奪うことへの議論は充分か。③否決するに足りる確かな事実が示されていない。④否決ありきではなかったのか。

答弁↓①来年の9月までが工期。1年も2年も延びれば財政への影響はあるが、1・2週間の延びで大きな影響はないと当局から確認した。②委員や執行部からも意見はあった。しかし、次元が違う。談合にはおかぶりをするのと次元が違う。③談合があったと業界のトップが言った以上、見過ごすことは出来ない。④そんなことはない。委員から関係者の意見を聞くこととなり勉強会も持ち、話を聞いて委員会として判断した。

なぜ関係者から事情聴取しなかったのか**山田 誠**

質問↓総務文教委員長報告と厚生委員長報告について、2つの委員会では議決に食い違いが生じている。今回の情報は、信ぴょう性がある情報とのこと。なぜ、厚生委員会では総務文教委員会と同様に関係者から事情聴取しなかったのか。

答弁↓当事者から事情聴取を行うべきか厚生委員会で審議したが、市当局が調査した結果、談合の事実は認められなかったとの報告を受けて、委員会では協議し採決の結果、関係者への事情聴取は必要なくなった。

総務文教委員会が否決された議案は**可決すべき****新風会 岡田康弘**

採決の結果を見ると厚生委員会に付託された第8号は可決、総務文教委員会に付託された6つの議案は否決という報告。各委員会が慎重審議をしたものであるが、このアンバランスな結果に、市議会議員として個人的にも、また津山市議会としても市民に対して説明責任が果たせないと感じる。子どもたちへの影響として、対象の学校には2,648人の児童生徒が在籍しており、こういった我慢をさせている状況が最大で8か月も延び、子どもたちの安全な学校環境の整備が大幅に遅れるという影響がある。総合判断する中で総務文教委員会に付託され否決された議案第10号、11号、13号、14号、15号、16号及び21号は可決すべきと考えるので、この採決に反対する。その他の議案には賛成する。

建設工事談合情報は限りなく灰色**山田 誠**

議案第8、9、10、11、13、14、15、16、21号についての反対討論を行う。今回の談合情報提供者は市内組織のトップの役職にあり、しかも現役建設業者の有力な方と特定されている。情報内容においても、入札指名委員会報告にあるとおり、一致している部分もあるとされ、これまでの談合情報にはなかった信ぴょう性が高いと判断する。総務文教委員会においても反対議決をし、厚生委員会は賛成議決とねじれも出ている現状である。この際、会期を延長し、談合情報について時間をかけて詳細を調査すべきである。また可決されても、工期内の完成ができるのか、作業員や資格者は揃うのかの疑問もある。よって前記の議案に反対するものである。

総務文教委員会が審議された議案の中で**否決されたことに反対****緑風会 木下健二**

緑風会を代表して工事請負契約の議案に対し賛成の立場で討論する。この中の7件について談合情報が寄せられ、対応マニュアルに沿った調査が行われたことは周知のことである。今回の議案が否決された場合、工事期間に夏休みが利用できなくなることにより、児童生徒の学校生活に多大な影響が出ると思われる。また、補助金、交付税の関係から約3億8千万円が受けられず、プレハブ工事の使用延長からさらに約3億円必要になる。今回の状況を勘案すると今回上程された工事請負契約はいずれも早期に可決し、影響を最小限にすべきと考える。したがって総務文教委員会が審議された議案の中で否決とされたことに反対し、他の報告には賛成する。

小学校・中学校の耐震工事は**すみやかに着手を!****新政クラブ 秋久憲司**

議案第8号、21号までの14件の工事請負契約の議案に賛成。この14件のうち、7件の工事について談合情報が寄せられ、当局は入札結果の審査などを行うとともに、津山警察署・公正取引委員会・岡山県と連携し慎重な対応を行った。その結果「談合があった事実は認められず、今後の談合防止に向けてさらなる対応を行う」との答弁であった。今回はほとんどが校舎の耐震改修工事、向陽小、院庄小、東中、北陵中、鶴山中、西中の合計2,648人の児童や生徒の安全安心のために重要な工事である。当局の「談合の事実が認められない」との調査結果を受け、各議案の工事内容、契約金額、工期、契約相手方に不備がない以上、すみやかに可決すべきである。よって総務文教委員会での工事請負契約の議案を否決したことに反対し、原案に賛成する。

総務文教委員会報告の

「議案を否決」する報告に反対

公明党津山市議員 原 行則

このたびの工事請負議案は中小学校の耐震化工事が主であり、この入札について談合情報が寄せられ、当局において警察などとも協議、調査した結果、談合の確たる証拠はないとの結果であった。しかし、委員会では談合の疑いが残るとの理由でこれらの議案は否決されたが、この耐震化工事は子どもたちの命を守る最重要事業で国の補正予算で前倒して行うことが前提であり、この機を逃せば国の支援が受けられない。また否決され工期が半年延びれば市は新たに6億8千万円もの負担を生じる。ゆえに、確定できない事実を持つて子どもたちの安全にかかわる工事請負議案を否決することに反対する。

入札に談合情報があれば

慎重な調査が必要

日本共産党津山市議員 末永弘之

中小学校の耐震工事、ときわ園新築工事などの「入札・契約議案」について、総務文教委員会と厚生委員会の「報告」が、当局提案の「議案」から言うとは反対と賛成で全く違う結論が出された。委員会の独自性で仕方ないことだが、本会議で結論を出すといずれかの委員会に「傷がつく」という結果になる。本会議の名によって、常任委員会の結論に「傷をつける」と言うのは、極力議員皆が「避けなくてはならない最低の心がけ」だと思ふ。その点では、継続して「意見調整を試みる」のもあり方では。談合など「確定できない課題」から賛成するのではなく「何が真実かを徹底的に調査して確定すべき」。それが議会の役割では。また、幾つかの企業の「技術者の登録のあり方」も疑問が出された。この点でも信ぴょう性もあり、もっと調査・研究すべき。その点で契約行為に反対し、その他の案件は賛成する。

6月定例会で同意した人事案件

6月定例会では、左記の人事案件が提案され同意することに決定しました。

固定資産評価審査委員会委員の選任について

津山市高尾137番地 有木俊恵(54歳)

人権擁護委員候補者の推薦について

津山市阿波3004番地 小椋宏栄(54歳)
(年齢は議決日(6月25日)時点です。)

表紙写真について

今回の撮影は、勝北風の子こども園、清泉幼稚園、成名幼稚園におじゃましました。

勝北風の子こども園に通園している園児(児童)は183人です。今回は、5歳児(45人)を撮影させていただきました。保育目標は、「自然や人とのかわりを通して、心身ともに健やかな子どもを育てる」で「健康的な生活習慣と生活リズムを身につける」を重点目標にされています。

清泉幼稚園に通園している園児(児童)は10人です。教育目標は、「心豊かで、たくましい子どもを育てる」で、「自分の気持ちを言葉で表現する楽しさや思いを伝え合う喜び、相手を思いやる心を育てる」を指導の重点にされています。

成名幼稚園に通園している園児(児童)は45人です。教育目標は、「のびのびと主体的に生活する子どもを育てる」で、「様々な体験を通して、豊かな心を育てる」を指導の重点にされています。

第14回「森林を考える岡山県民のつどい」

10月26日(土)にグリーンヒルズ津山で開催を決定しました。たくさんの方のご来場をお待ちしています。

編集後記

6月定例会は、真夏をおもわせる好天気の中、3日から開催されましたが、25日の最終日のころは、「梅雨の雨」になりました。今年は「梅雨のおやすみ」といわれ、猛暑のような日や、大雨の予想もあり、市民の皆さん、被害など大丈夫でしたか。市議会もいろいろでしたが、何とか無事に定例会を終えることができました。入札・契約行為による「談合情報」で終始した感がありましたが、今後、市議会としても、「新しい入札制度の確立」「談合対応マニュアルの改革」などへ精力的に取り組みます。「だより」が届くころはこよみの上では立秋とおもいます。健康には気をつけてください。・・・ (弘)

6月定例会は美術館について質問。これまでも長年にわたり多数の議員から異口同音に「津山市に美術館が必要。ぜひ建設を！」との質問が続いていました。 (憲)

今年の水無月は雨の降らない空梅雨だ。陰暦では5月ごろ降り続く長雨のことだが農業者たちも大変だと思ふ。今年のコメのときは気になるところ。雨が恋しい(康)

談合問題で揺れた今議会、談合防止マニュアルの強化入札制度の見直しなど防止対策が必要。まずは、企業のコンプライアンス遵守の姿勢を見せてほしい。 (謙)

広報調査特別委員会メンバー

◎末永弘之 ○安東伸昭
秋久憲司、岡田康弘、岡安謙典
黒見節子、竹内靖人、吉田耕造